

展示室 1 理想郷を描く



リチャード・ウィルソン  
「キケロの別荘」

理想郷というと、まず何を思い浮かべるでしょうか。イメージは様々であっても、明るい憧れの世界という共通点がみえるのではないのでしょうか。今回は、イギリスの近代美術のなかで理想郷をテーマにした作品を特集します。理想の国として語られる架空の国「ユートピア」を書物に書いたのは、16 世紀前半に活躍したイギリス人の思想家トマス・モアでした。近代以降それぞれの時代にあって、理想郷に思いを馳せた画家たちは、神話や文学、あるいは自然をテーマにどのような世界を描いたのでしょうか。それらは、「いま」「ここを」超えて生きていこうとする私たちに、想像の力のすばらしさを伝えてくれています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ジョン・マーティン	裁きを受けるアダムとイヴ	1833	メゾチント・紙/本
ジョン・マーティン	『ミルトンの失樂園』(第 2 巻)	1825～27	水彩・紙
ウィリアム・ブレイク	『ヴァージルの田園詩』(第 1 巻)		木口木版・紙/本
ジョン・リネル	正午(真昼の羊)	1818	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	生命の朝	1860	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	弧高の塔	1879	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	眠る羊飼い(早朝)	1857	エッチング・紙
サミュエル・パーマー	牧夫の小屋(日没)	1850	エッチング・紙
エドワード・カルヴァート	林檎酒の宴	1828	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	小川	1829	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	家路	1830	木口木版・紙
エドワード・カルヴァート	貴婦人とミヤマガラス	1829	木口木版・紙
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815 年頃	油彩・キャンバス
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	テダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス
アルバート・グッドウィン	エンゲルベルク		ペン、水彩・紙 佐藤克也氏寄贈
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	『フラワー・ブック』より 5 点	1905	リトグラフ・紙/ポートフォリオ
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョン・セル・コットマン	『ジョン・セル・コットマンのエッチング集』より	1811	エッチング・紙/ポートフォリオ
ジョン・クローム	ヘレスドンの眺め	1807 頃	油彩・キャンバス
サー・アルフレッド・イースト	九月の陽光		油彩・キャンバス

## 展示室2 悠久—歴史のロマンと祈り



黒沢吉蔵「大和箸中」

6月16日から企画展示室で「入江泰吉写真展」が行われます。入江泰吉は奈良市生まれの昭和を代表する写真家のひとりで、歴史と祈りに満ちあふれた大和路の風景風物を撮り続けた人物です。今回のこの常設展示では、入江泰吉の写真と同様に、歴史や祈りををテーマに制作された絵画や彫刻を展示します。

黒沢吉蔵の絵は、一説には卑弥呼の墓と言われている有名な箸墓古墳のある集落の風景です。梶田半古の描いた女性は、まさに大和に都があった時代の装束を着ていて、なんとなく額田王を連想させます。古代史の実在の人物を彫った三木宗策—そのうち坂上田村麻呂は奈良時代末期から平安初期にかけて活躍した武官で、郡山市にもゆかりのある人物です。入江の写真とともに、これらの作品からも歴史のロマンを感じとっていただけたら幸いです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
荻生天泉	行成卿	1932(昭和7)	紙本着色／二曲一双屏風
常盤大空	古代頌	1960(昭和35)	画布着色／額 常盤房子氏寄贈
梶田半古	花と蝶	明治40年代	絹本着色／二曲一隻屏風
黒沢吉蔵	大和箸中	1980(昭和55)	紙本着色／額
三木宗策	威容抱慈(坂上田村麻呂像)		木彫
三木宗策	大葉子		木彫 萩原巖氏寄贈
佐藤静司	合掌	1986(昭和61)	木彫
佐藤静司	半跏思惟像	1978(昭和53)	ブロンズ 太田緑子氏寄贈
原 撫松	奈良の夕	1911(明治44)	油彩・キャンバス
棟方志功	愛染菩薩図(「雨ニモ負ケズ」四韻)		淡彩・紙(4点組)
佐藤静司	二月堂お水取り		木版・紙 佐藤静司氏寄贈
佐藤静司	奈良興福寺 電燈鬼立像	1985(昭和60)	鉛筆、水彩・紙 佐藤静司氏寄贈
佐藤静司	室生寺		コンテ・紙 佐藤静司氏寄贈
佐藤静司	阿弥陀仏、ソウル	1987(昭和62)	コンテ、水彩・紙 佐藤静司氏寄贈
佐藤静司	慶州、弥勒像	1987(昭和62)	コンテ、水彩・紙 佐藤静司氏寄贈
佐藤静司	中国大同雲崗	1981(昭和56)	鉛筆、水彩・紙 佐藤静司氏寄贈

## 展示室3 アートのふしぎ



秋山泰計「ひとり十人」

アートの世界へようこそ！でも、アートの世界ってどんなところ？そうおもったら、いっしょに、「アートのふしぎ」を探検してみよう。絵のなかは、ふしぎがたくさんあるよ。おぼけみいたいな生物。夢をみているような景色。へんな形。ひとの顔のなかに、また顔？なんか、ちょっとこわい絵！いったい、この絵は、なんなんだ？！

アートを楽しむには、まずは、よく、見てみよう。目を閉じてもその絵が思い浮かぶくらいに。はなれて見たら、こんどは近づいて見たり、絵を描いた人の気持ちを想像してみたり、クイズに答えたり、いろいろな方法で、アートの世界を楽しもう！

多くの子どもたちに鑑賞するおもしろさを伝えたい—このコーナーでは、そんな願いをこめて、さまざまな作品をとおして、日常では味わえないアートの楽しさや多様さをご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
○「よく見ると・・・」			
ウィリアム・ホーガース	誤った遠近法		エッチング・紙
ウィリアム・ホーガース	ピール街；ジン小路	ジン小路 1750～1751	エッチング、エンブレイヴィング・紙
ウィリアム・ホーガース	ピール街；ジン小路	ピール街 1750～1751	エッチング、エンブレイヴィング・紙
アントニー・ゴームリー	量子雲	2000	アニリン塗料・紙(3枚組)

作者名	作品名	制作年	技法・形状
アラン・グリーン	18 コの白と50 コの黒	1990	エッチング、アクアチント・紙
リチャード・ハミルトン	フラワー・ピースB、クレヨン習作	1976	リトグラフ・紙
○「ふしぎの森」			
鎌田正蔵	遁走		油彩・キャンバス
鎌田正蔵	白昼夢	1938	油彩・キャンバス
芳賀忠行	虚構の風景 - 城	1974	油彩・キャンバス
早瀬龍江	營	1940	油彩・キャンバス
○「かたちのひみつ」			
村井正誠	いそぐ人	1956	油彩・キャンバス
勝呂 忠	浮遊する3本の線	1989	油彩・キャンバス
鎌田正蔵	ロボット家族 (B)	1982	油彩・キャンバス
○「白か？黒か？それが問題だ」			
秋山泰計	ひとり十人	1961	木版・紙
秋山泰計	筋のない話 (C)	1974	木版・紙
秋山泰計	おびからくり (少女⇄サルの親子) (キジ⇄キツネ)、(スイカ⇄ヘビ) (ウマ⇄黒カバン)		紙、布 三木多聞氏寄贈 田口安男氏寄贈

## 展示室4 イギリスの木版画



ロバート・ギビングス  
「チューリップ」

木版画には、浮世絵のように立ち木を縦に切った版木で制作する技法(板目木版)の他に、柘植(つげ)などの堅い材質の木を輪切りし、その小口面をビュランという道具で彫る西洋の技法(小口木版・こぐちもくはん)があります。緻密な表現に適した小口木版は、18世紀後半にイギリス人トマス・ビューイックによって開拓され、本の挿絵などに大いに活用されました。やがて写真製版がこれに代わると衰退していきませんが、20世紀初頭、イギリス人のアーティストによって再び小口木版が注目され、数多くの作品が生み出されました。

今回は、当館が所蔵するイギリス版画のコレクションから木口木版画の作品をご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・形状
トマス・ビューイック	野性の牡牛	1789	木口木版・紙
トマス・ビューイック(画、刻)	『英国鳥類誌第二巻水鳥編』	1804刊	木口木版・紙/本
エリック・ギル	エヴァ	1926	木口木版・紙
エリック・ギル(画、刻)	『四福音書』	1931刊	木口木版・紙/本
デイヴィッド・ジョーンズ	エヴリマン	1929	木口木版・紙
デイヴィッド・ジョーンズ(画、刻)	『チェスター戯曲：大洪水』		木口木版・紙/本
ジョン・ナッシュ	荷馬車に積まれた干草	1920頃	木口木版・紙
ジョン・ナッシュ	雌牛	1929頃	木口木版・紙
ジョン・ナッシュ(画、刻)	『有毒な植物』	1927刊	木口木版・紙/本
ロバート・ギビングス	ペンキ屋	1921	木口木版・紙
ロバート・ギビングス	チューリップ	1922	木口木版・紙
ロバート・ギビングス(画、刻)	『生命の栄光』	1934刊	木口木版・紙/本
アグネス・ミラー・パーカー	バーバリー・シープ	1930	木口木版・紙
ジョージ・グラウド・レオン・アンダーウッド	解放	1925	木口木版・紙
ガートルード・ハーミーズ	すみれ	1930	木口木版・紙
チャールズ・ジナー	ピット・ハウス	1931	木口木版・紙
チャールズ・ジナー	イースト・ヒースにて		木口木版・紙

## 展示室4 薬師寺と佐藤潤四郎



「奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器(控)No.1」

奈良の薬師寺といえば白鳳文化の象徴であり、世界遺産にも登録されている日本を代表する寺院のひとつです。本尊の薬師如来像はじめ、数々の文化財を有するとともに、今日でもふたつの塔を持つ伽藍は、周囲の風景ともマッチした風情を残し、写真家・入江泰吉のお気に入りの撮影ポイントでした。

その薬師寺の西塔復元や玄奘三蔵院建立にあたり、郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎が活躍したことは、このコーナーで何度もご紹介したとおりです。今回、「入江泰吉写真展」を企画展として開催するにあたり、佐藤潤四郎の薬師寺関連作品を展示します。企画展とあわせてご鑑賞ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973~6(昭和48~51)頃	宙吹き・サンドブラスト	(株)ノリタケクリスタル寄贈
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス	1945(昭和20)	宙吹き・グラヴェール	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ガラスの神様花瓶		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舎利器(試作)	1980(昭和55)	宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舎利器小容器(試作)	1980(昭和55)	宙吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器(控)No.1	1980(昭和55)	宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舎利器カバー(控)No.1	1984(昭和59)	宙吹き・プランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	舎利器		宙吹き・カレット融着	
佐藤潤四郎	舎利器		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	舎利器		宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	舎利器		宙吹き・プランツ、気泡封入	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚(オレンジ)	1973~6(昭和48~51)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚(ブルー)	1973~6(昭和48~51)頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980~2(昭和55~57)頃	宙吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984(昭和59)頃	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・手		サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡ロータス	1984(昭和59)	エッチング、サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡と五輪塔		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡1		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶板・仏足跡2		陶器	寄託作品
各務鑲三	クリスタル花器《鱗影》	1970(昭和45)頃	宙吹き・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈
吉田丈夫	クリスタル瓶《瓢》		宙吹き	田淵十一氏寄贈
佐藤潤四郎	インド・サリーの女		ドローイング	寄託作品
佐藤潤四郎	インド・一本の道		ドローイング	寄託作品

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
●1階展示ロビー				
アントニー・ゴームリー	量子雲XⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XⅢ	2000	ステンレス、スチール棒	
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
●1階サブエントランス				
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
●2階展示ロビー				
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石	寄託作品
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント	
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ	
清水多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ	
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	